



“アレグロとアダージョ”の奏でる名曲選



プログラム

今日は“速度標語”のアレグロとアダージョで書かれた名曲を集めてお聴きいただきます。
一般的にアレグロは交響曲や協奏曲、ソナタの第1楽章、終楽章で、アダージョは第2楽章で数多く使用されています。アレグロは「快速に」、アダージョは「ゆるやかに」という意味ですが、絶対的な速度規定はありません。これを数値で表したのがメトロノームですが、一定の範囲内であればそれと見なされます。演奏家によって演奏時間が大きく異なるのもその為ですが、これもクラシック音楽の面白さです。今回はバッハ、モーツァルト、ベートーヴェンの名曲からのアレグロ、装飾されたアレグロ(アレグロ・モルト等)、アダージョではモーツァルトとバーバーの作品、そしてその名もずばり、シューマンの「アダージョとアレグロ」をお聴きいただきます。これは詩情豊かなアダージョの後に情熱的なアレグロが続くシューマン円熟期の佳曲です。バーバーのアダージョは、映画「プラトーン」を始め多くの映画やドラマに使用されている“アダージョ”を代表する名曲です。ごゆっくりお楽しみください。
アレグロ・モルト=極めて快速に アレグロ・アッサイ=非常に快速に アレグロ・ヴィヴァーチェ=はなはだ急速に
アレグロ・コン・ブリオ=生き生きと快速に アレグロ・プレスト=急速に

ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685~1750):

ブランデンブルク協奏曲第5番ニ長調BWV.1050 ~ 第1楽章(アレグロ)、第3楽章(アレグロ)

カール・リヒター指揮ミュンヘン・バウツハ管弦楽団
(1974.5.7 ルガーノ、アポロ劇場でのLive)

ヴォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):

ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488 ~ 第2楽章(アダージョ)

ワルター・クリーン(ピアノ)
ロヴロ・フォン・マタチッチ指揮ウィーン交響楽団
(1980.5.24 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

交響曲第40番ト短調K.550 ~

第1楽章(アレグロ・モルト)、第4楽章(アレグロ・アッサイ)

リツカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(2003.1.19 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

*** 休憩 ***

ロベルト・シューマン (1810~1856):

アダージョとアレグロ変イ長調op.70

ゴージェイ・カプソン(チェロ) / マルタ・アルグリッチ(ピアノ)
(2010.6 ルガーノ音楽祭でのLive CD盤)

サミュエル・バーバー (1910~1981):

弦楽のためのアダージョop.11 (弦楽四重奏曲第1番第2楽章の弦楽合奏用編曲)

セルジユ・チェリビダツク指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団
(1992.1.17 ミュンヘン、ガスタイクホールでのLive)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

交響曲第8番ハ長調op.93 ~ 第4楽章(アレグロ・ヴィヴァーチェ)

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1987.6.28 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

交響曲第5番ハ短調op.67 ~ 第1楽章(アレグロ・コン・ブリオ)、第4楽章(アレグロ・プレスト)

ハインツ・ワルベルク指揮ウィーン・トーンキユンストラ管弦楽団
(1985.10.13 東京、簡易保険ホールでのLive)